

なんケア通信



第29回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：令和3年2月5日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：35名(介護事業所関係者 25名、地域包括支援センター 7名、福祉用具事業所 2名、その他 1名)



演 題

『「地域で最期まで暮らす」を支える私たちの取り組み』

1. ホームホスピス

NPO法人 ホームホスピス秋田 くららの家 佐々木 奈々子 様

2. 看護小規模多機能型居宅介護

株式会社 虹の街 看護小規模多機能いずみ 竹浪 ゆり 様



今年度最後のなんケアの会(第29回)を令和3年2月5日(金)に開催致しました。今回のテーマは、『「地域で最期まで暮らす」を支える私たちの取り組み』です。地域包括ケアシステムの中、「住まい」の確保は最重要課題といっても過言ではありません。介護の担い手不足、介護者の高齢化、医療依存度の高さなど様々な問題により、多くの方が住居支援を必要としています。このような状況の中、大きな支えとなり注目されている「ホームホスピス」と「看護小規模多機能型居宅介護(以降、看多機)」の2つの施設から、施設の概要と取り組みについて詳しいお話を伺いました。

初めに、NPO法人ホームホスピス秋田 訪問看護ステーションの佐々木奈々子氏よりホームホスピス秋田くららの家についてご講演頂きました。ホームホスピスとは、住み慣れた地域で、なじみの人たちに囲まれて《その人らしく》人生を全うする事を望む方々の、施設でもない自宅でもないもう一つの「居場所」と謳われています。くららの家では民家を借り受けて7~8名の方が生活しており、一人ひとりの身体状況に合わせて医療・介護保険を組み合わせた在宅ケアプランが計画され、かかりつけ医の往診や訪問看護ステーションをはじめとした各種サービスを利用しているようです。さらに定期的にボランティアの方もお手伝いに来てくれるというお話を伺い、地域との繋がりや助け合いのかたちが確立されている事も教えて頂きました。

ご講演の後半には、実際の室内や入居者様が生活している様子がわかる写真も拝見させて頂き、ホームホスピスが《その人らしく》生活するための「居場所」であることが良くわかりました。

続いて、虹の街看護小規模多機能いずみの看護師である竹浪ゆり氏より看多機についての講演を頂きました。いま現在は28名の方が登録されており、7室あるお部屋を調整しながら利用しているそうです。

看多機を利用するにあたって、要支援1以上である事と地域密着型サービスのため管轄する市町村に住んでいる事の大きく2つの条件がある中で、この事業所では医療処置の必要な方を含め積極的な受け入れをしているというお話でした。ただ、人工呼吸器を装着されている方については、泊まりサービスを利用できないという理由から受け入れをお断りしているようです。

また、看多機としての役割のひとつが、在宅生活を継続するためのサービスであることから、看取り希望の相談については訪問診療医と連携しながら在宅看取りのお手伝も対応しているとのことでした。実際にその貴重な事例も紹介して頂き、必要な時に医療サービスや介護サービスを臨機応変に受けられることが良くわかりました。

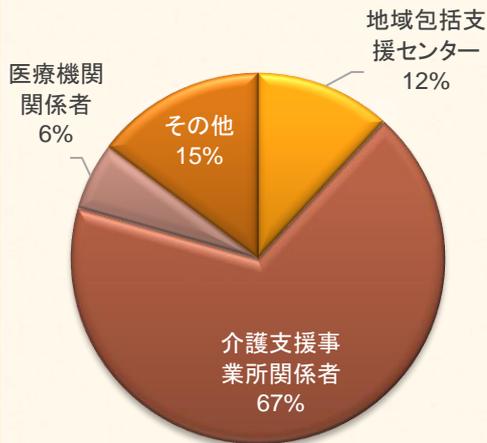
本日の講演で、この2つのサービスが地域包括ケアシステムの要として大切な役割を担っている事を教えて頂きました。今回の講演で知り得た知識を生かしながら、これからも医療・介護を組み合わせた一人ひとりに合った幅広いケアを考えて行きたいと思えます。

次回のなんケアの会は令和3年6月を予定しております。コロナウイルス感染症の動向により、自粛・中止させていただく可能性もございますので、あらかじめご了承ください。変更、詳細につきましては今後ホームページにて順次お知らせ致します。



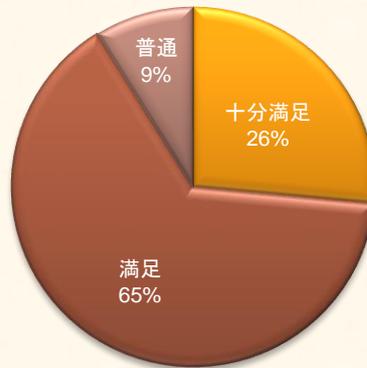
アンケートの
集計結果

所属



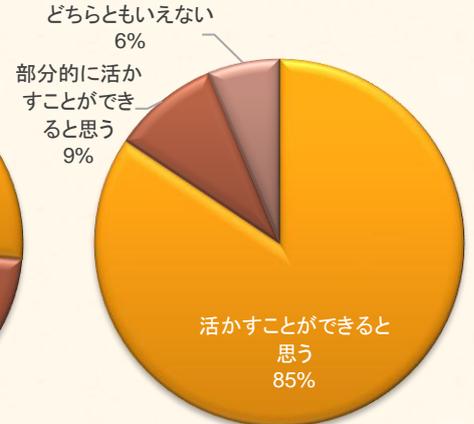
- 地域包括支援センター
- 介護支援事業所関係者
- 医療機関関係者
- 調剤薬局
- その他

なんケアの会に参加して、
いかがでしたか？



- 十分満足
- 満足
- 普通

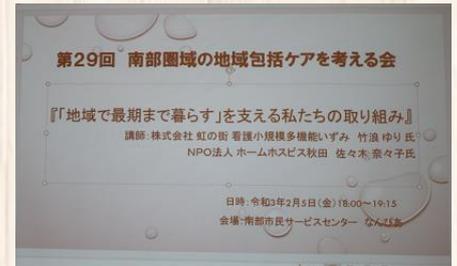
今後、地域での活動に活かす
ことができそうですか？



- 活かすことができると思う
- 部分的に活かすことができると思う
- どちらともいえない

回収率：97.1% (アンケート配布：35名、回収：34名)

会場の様子と
皆様からの
ご意見・ご感想



ホームホスピス、看多機の実際のお話を聞くのは初めてでした。大変勉強になりました。ありがとうございました。

地域包括支援センター

オンライン研修が増えている中、直接顔を見て声が聞ける研修は貴重だと感じています。可能な限り出席を続けたいと思います。なんケアの会の後には、職員会議等で内容を全職員に周知しております。様々な情報をありがとうございます。

グループホーム

初めて参加させていただきました。普段、連携に関する仕事をしてますが、地域の事業者さんの取り組みを知る機会がない為、大変勉強になりました。地域にこのように手厚く寄り添ったケアを実施されている事業者さんがあるというのはとても安心だと思います。ありがとうございました。

在宅医療介護連携センター

次回開催の
お知らせ

開催日時：令和3年6月4日(金) 18:00～19:15
会場：御所野交流センター(予定)